

平成31年度 年間指導計画

教科	地理歴史科	対象クラス	○ 必修	単位数	
科目	世界史A	1年全員	必修選択		2単位
使用教科書 使用教材	教科書:山川出版社「要説世界史 改訂版」 資料集:「グローバルワイド最新世界史図表 二訂版」				
評価の 観点・方法	①出席状況 ②授業態度 ③ノート・レポート(期末) ①～③を総合的に判断し評価するが、欠席が多かったり、提出物で未提出が多いときは評価が1になることがある。				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	黄河文明 ・殷周の時代へ 東アジア世界の展開 東アジア世界の変動	・儒教、中国を中心とした国際体制などを通して、日本を含む東アジアに形成された文明の特質を学ばせる。	・黄河文明 ・春秋戦国時代 ・秦・漢による統一 ・三国時代 ・隋唐帝国	4
	5	東アジア世界の展開 東アジア世界の動き ・モンゴル帝国 ・明清帝国の繁栄 地中海世界の成立	・古代ローマの遺産、キリスト教などいくつかの事例を通して、ヨーロッパに形成された文明の特質を知る。	・隋唐帝国 ・宋 ・モンゴル帝国と元 ・明・秦帝国 地中海世界(エーゲ文明・ギリシア世界) (中間考査)	6
	6	・明清帝国の繁栄 地中海世界の成立 地中海世界の展開	・古代ローマの遺産、キリスト教などいくつかの事例を通して、ヨーロッパに形成された文明の特質を知る。	・ギリシア世界 ・ローマ世界 ・キリスト教 ・ビザンツ帝国と東ヨーロッパ	8
	7	地中海世界の展開	・古代ローマの遺産、キリスト教などいくつかの事例を通して、ヨーロッパに形成された文明の特質を知る。	・キリスト教 ・ビザンツ帝国と東ヨーロッパ	2
	8				
2 学期	9	地中海世界の展開 中世ヨーロッパ世界の展開	・キリスト教を通して、ヨーロッパに形成された文明の特質を知る。	・キリスト教 ・ビザンツ帝国と東ヨーロッパ ・西ヨーロッパ世界	6
	10	中世ヨーロッパ世界の展開 世界の一体化	・ルネサンスや宗教改革などの動きや、大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカとの接触・交流について知る。 ・ヨーロッパの主権国家体制、アメリカ・アジアの接触と交流、大西洋世界とアメリカを扱い、16世紀からの世界の一体化の動きを知る。	・十字軍 ・大航海時代 ・ルネサンス ・宗教改革 ・絶対王政	8
	11	世界の一体化 ・ルネサンスと宗教改革 ・絶対主義 革命時代のヨーロッパ	・ルネサンスや宗教改革などの動きや、大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカとの接触・交流について知る。 ・ヨーロッパの主権国家体制、アメリカ・アジアの接触と交流や、世界の一体化を知る。	・絶対王政 ・フランス革命 ・帝国主義	6
	12	・2学期のまとめ□		(期末考査)	2
3 学期	1	・革命時代のヨーロッパ ・二つの世界大戦	・ヨーロッパの主権国家体制、アメリカ・アジアの接触と交流を扱い、世界の一体化を知る。 ・帝国主義諸国の抗争、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、世界と日本に及ぼした影響と20世紀前半までの世界を考察させる。	・帝国主義 ・第一次世界大戦 ・ヴェルサイユ体制	4
	2	・二つの世界大戦□	・帝国主義諸国の抗争、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、世界と日本に及ぼした影響と20世紀前半までの世界を考察させる。	・第一次世界大戦 ・世界恐慌 ・第二次世界大戦	6
	3	・現代の世界□学年総まとめ□	・現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用し、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。	・占領政策 ・冷戦 (期末考査)	2